

平成25年度教育研究活動報告書

氏名	信木 伸一	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	教育学修士	職位	教授
専門分野	国語教育学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
学部	国語教育学専門演習 a 国語教育学専門演習 b 卒業論文（構想・準備） 卒業論文（制作） 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 教育原理 教育の方法と技術 総合演習 教職実践演習
大学院	国語教育学特論
II 研究活動	
これまでの主な研究業績（5件まで）	
（1）〈著書〉全国大学国語教育学会編『新たな時代を拓く 中学校・高等学校国語科教育研究』（学芸図書 2010.12）	
（2）〈論文〉読みのシステムの作動と変容—読解リテラシーを育成する学習のために—（尾道大学日本文学会『尾道大学日本文学論叢』（第6号） 2010.12）	
（3）〈学会発表・論文〉リテラシーの産出と古文学習—語られ方を読む学習の方法と実践—（第31回日本国語教育学会西日本集会 2006 『月刊国語教育研究』2006年10月号 日本国語教育学会）	
（4）〈学会発表〉オートポイエーシス論から見た「読み」を産出する機構の形成（全国大学国語教育学会第119回鳴門大会 2010.10）	
（5）〈論文〉読みの行為と学力を考えるために（『国語教育研究 第四十七号』広島大学国語教育会 2006）	
本年度を含む過去3年間の研究業績	
（1）〈論文〉思考の論理・思想の論理を獲得する読みの学習—説明文教材を例に—（『国語教育研究 第五十二号』広島大学国語教育会 2011.3）	
（2）〈論文〉思考の論理・思想の論理を問題化する読みの学習—小説教材を例に—（『国語教育研究 第五十三号』広島大学国語教育会 2012.3）	
（3）〈論文〉国語教育のためのオートポイエーシス論（『論叢国語教育学 復刊第3号』広島大学国語文化教育教育学講座2012.5）	
（4）〈論文〉書き手の問いに反応する古典学習（1）—『徒然草』「花はさかりに」の場合—（『論叢国語教育学 復刊第4号』広島大学国語文化教育教育学講座2013.7）	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）明治期国語教科書の研究	
（2）古典教育における社会的構築主義的アプローチの研究	
（3）小・中・高一貫の「伝統的な言語文化」の教育カリキュラムに基づく授業創造に関する研究（科研費研究）	
研究テーマの進捗状況	（1）明治期国語教科書の研究では、最初期の教科書について、近世テキスト群との関連性及び後の教科書への影響を調査した。 （2）古典教育における社会的構築主義的アプローチの研究については、教材テキストのひらく問題領域と学習者を切り結ぶ学習活動の具体的な方策を考察した。 （3）小・中・高一貫の「伝統的な言語文化」の教育カリキュラムに基づく授業創造に関する研究については、教育カリキュラム策定を行っている。
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）	
所属学会・所属団体 役職等	
全国大学国語教育学会、日本国語教育学会、中国四国教育学会、広島大学国語教育会、尾道大学日本文学会	